

訪問診療・訪問看護・訪問リハ 御案内

2025年度版



【主な施設基準】

機能強化型在宅療養支援診療所（在宅緩和ケア充実診療所）

有床診療所（一般病床19床）

救急告示診療所

介護老人保健施設併設（老健ひだまり）

由仁町立診療所 医療福祉相談センター

069-1207 夕張郡由仁町馬追1番地の1

相談員直通

090-2207-3701（平日8:30～17:00）

代表

TEL:0123-83-2031 FAX:0123-83-2032



【2025 在宅診療体制】

【訪問診療】



所長 島田啓志

2008年札幌医大卒。初期研修修了後、長野県佐久にて5年間、地域医療・在宅医療の研修。その後、札幌の在宅療養支援診療所にて3年間勤務。2018年より由仁町立診療所勤務。2025年より現職。医療福祉相談センター長。

【資格】家庭医療専門医、在宅医療専門医、緩和医療専門医、総合内科専門医、認知症サポート医

*当院は臨床研修協力施設であり、研修医が診療することや見学者が同行する場合がございます。ご理解・ご協力をお願いします。

*当院は、町立南幌病院、ささえるクリニック岩見沢、ささえるクリニックきたひろ、くら内科内視鏡クリニックと連携し24時間の在宅医療体制を整えております。当院医師で対応ができない場合、連携医師や他の空知南部医師会所属医師での対応となることがございます。

【訪問看護】



看護師 稲垣友美



看護師 山川智子



看護師 石川 聖

訪問看護では、療養生活を送られている方や治療・医療機器の使用が必要な方の自宅へ訪問し、暮らしをサポートしています。日常生活を送るうえでのご不安やお悩みごとについての相談にも対応いたします。

また、訪問診療を利用されている方の介護等との連携の窓口を担う「連携看護師」としての業務も行っています。

【訪問リハビリ】



PT 平佐和之



PT 中川力哉

訪問リハビリでは、リハビリスタッフが自宅へ訪問し、住み慣れた地域での生活を支えるリハビリを実施しています。ひとりひとりの生活目標に合わせてお身体の機能回復・生活動作の支援を行い、生きがいや役割を持って家庭や社会に積極的に参加できることを目指してまいります。また、利用者を支えるご家族に介助方法の指導や環境調整など、ご家庭で安心し、できる限り自立した生活が行えるように支援いたします。

コーディネーター



保健師 濱道智子



社会福祉士 前田結輝

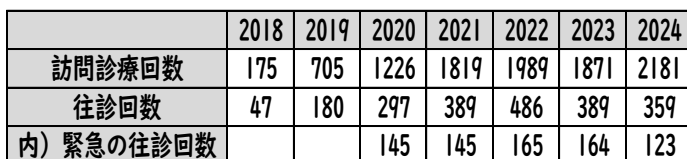
当院の訪問診療・訪問リハ・入院・老健などの相談業務を担います。また、空知南部医師会「在宅医療と介護の相談窓口」のコーディネーターとして、広域の在宅医療に関するあらゆる相談を受け付けます。

在宅医療アシスタント (PA)



PA 青山郁子

訪問診療に同行し、医師や看護師の補助、連絡調整を担います。



【よくあるご質問】

Q 訪問診療依頼にあたり、外来受診の必要性はありますか？

A 必要ありません。来院が難しければ、相談員が自宅・病院へ御説明に伺います。

Q 訪問診療の依頼にあたり、訪問看護は必要ですか？

A 病状が不安定な患者様は利用が望ましいですが、訪問診療のみでも対応可能です。
尚、近隣の訪問看護などの近隣の在宅医療資源は、HPを参照ください。

Q 必要時の入院先はどのようになっていますか？

A 個別に対応させていただきます。例えば、自宅から近い医療機関での入院を希望されている場合は 事前に希望医療機関へ入院時の受け入れの相談を行います。
尚、由仁町立診療所ではレスパイト入院、緊急入院の受け入れは可能です。

※レスパイト入院：介護者の日々の疲れ、冠婚葬祭、旅行などの事情により、一時的に在宅介護が困難となる場合に期間を設けて入院することを指します。

Q (入院中の方へ)

在宅療養か施設入所で迷われている状態での訪問診療や転院依頼は可能ですか？

A はい、可能です。当院は老人保健施設併設の有床診療所です。今後の療養の方向性が定まっていなくても、当院に転院して頂いた後に、こちらで今後の療養方針をご本人、御家族様と検討することもできます。まずはご相談ください。

